

東京岡山県人会



発行者：東京岡山県人会
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10階
岡山県東京事務所 内
TEL.03-5212-9080
FAX.03-5212-9083
E-mail:tokyo_okayamaken@tdfk.or.jp

第五十四回岡山県人の集い

賑やかに開催

東京岡山県人会の平成十五年度総会と第五十四回県人の集いが、九月五日（金）、東京・赤坂プリンスホテルで約四五〇人の参加のもと盛大に開催されました。各界で活躍する県出身者のほか、地元岡山からは石井正弘県知事をはじめとする行政関係者、さらには岡山経済界の代表者の方々にも多数参加していただき、懐かしいふるさとの話と味で交流を深めました。



まず、総会では、小長啓一会長（AOCホールディングス代表取締役社長）、橋本徹副会長（ドイツ証券会社東京支店会長）が再任され、二人増となった副会長には近藤

晃日本航空システム常任顧問と松尾道彦日本海事財団会長が選任されました。

引き続き開催された「県人の集い」では、小長会長が「東京にいる県人にとって心の古里は岡山。県人会をより充実し、郷土岡山の発展に寄与したい。」と挨拶されました。



続いて、橋本龍太郎元内閣総理大臣の祝辞、石井正弘岡山県知事から郷土岡山の近況報告を兼ねた祝辞をいただいた後、岡山地酒の四斗樽が威勢の良い「ヨイショ」のかけ声に合わせ鏡開きされ、岸本泰延名誉顧問（昭和電工顧問）の音頭で乾杯、集いの幕が開か

れました。

岡山、倉敷、津山地方等十三のテーブル毎に出身者が集まり、岡山ばら寿司やままかり、地酒、マスカットなど懐かしいふるさとの味に舌鼓を打ちながら親睦と交流を深め、戸室敦雄県議会議長の中締め挨拶まで、和やかな歓談の輪が広がりました。なかでも今年、岡山国体の特別応援団を務める有森裕子さんも参加、二年後に近づいた国体をPRされ、会場を沸かせました。また、昨年に引き続き岡山県出身者の大学生で構成されている青年会の学生がスタッフとして貢献し、若い力みなぎる県人の集いとなりました。



阪神タイガース 秋季キャンプ

in

倉敷マスカット スタジアム

阪神タイガースの秋季キャンプが昨年引き続き、十一月七日〜二〇日まで倉敷マスカットスタジアムで開催されました。倉敷市出身である星野前監督のもと、十八年ぶりのリーグ優勝を果たした阪神タイガース。岡田新監督や選手を一目見ようと期間中、大勢のファンが球場に詰めかけました。

歓迎式典では、星野前監督の母校である倉敷商業高校吹奏楽部の演奏と川崎医療福祉大学チアリーディング部による演技でスタジアム内が盛り上がる中、石井知事の挨拶に続き岡田監督らに特産品や花束の贈呈が行われました。それを受け岡田監督が「昨年は、マスカットスタジアムでスタートし優勝を勝ち取ることができました。星野野球を継承し、今年以上の成果を上げられるように頑張ります。」と挨拶されました。

最後に、来季の阪神タイガースのますますの活躍とキャンプの成功を祈念して、全員でタイガースマークの入ったエコロジー風船を空高く放ちました。

●お問い合わせ

岡山県都市計画課

(086) 226-7491



石井知事とルノー社購買担当副社長兼ルノー・日産共同購買会会長のデフォルージュ氏（パリ・ルノー本社）

知事トップセールス

欧州自動車メーカーを

岡山県内自動車関連産業の受注機会の拡大を図るため、県では、十月十六日（木）〜二十一日（火）フランスで開催された「パリ国際自動車技術見本市」にジェトロ、(財)岡山県産業振興財団と共同で岡山県ブースを設け、県内企業十四社の出展・商談を支援しました。



その結果、見本市会期中に外国企業との商談成立や代理店契約等の実績があり、今後実施するフォローアップも含

め、その成果が期待されています。

また、見本市開催に併せて、石井知事と県内企業の代表がドイツのタイムラー・クライスラー社とフランスのルノー社を訪問し、両社の役員と懇談。知事自ら県内の自動車関連企業の技術力や「ものづくり先進県岡山」のトップセールスを行いました。これに対し、両社の役員からは「これを機に岡山との関係を深めたい。」等の発言があり、今回の訪問をきっかけに両社と県内自動車関連産業との関係が深まると期待されています。

第一回 おかやま県民文化祭 開催

岡山県とおかやま県民文化祭実行委員会では、県民が文化に親しみ交流するとともに、文化活動を発表する場として、「第一回おかやま県民文化祭」を本年九月から十一月までの三か月間開催しました。

主催事業として、総合フェスティバル、分野別フェスティバル、岡山フィルハーモニック管弦楽団による演奏会、岡山県文学選奨、岡山県美術展覧会など多彩な事業を行いました。

また、協賛事業として、県民文化祭の趣旨に賛同した創作活動を行う文化団体等が自主的に行う百五十三の催しが県内各地で開催されました。

この県民文化祭は、昭和三十九年から昨年まで開催されていた岡山県芸術祭を充実、発展させ、国民文化祭（平成二十二年）の誘致・開催に向け気運の盛り上がりを図るため、「県民総参加型」の文化の祭典を目指しています。

●お問い合わせ

おかやま県民文化祭実行委員会

(岡山県文化振興課内)

電話 086-226-7403



■総合フェスティバル開会セレモニー（9/28 倉敷子ボリ公園）

竹久夢二

生誕一二〇年

平成十六年九月に、竹久夢二は生誕一二〇年を迎えます。

岡山県の「夢二郷土美術館」は、姉妹館の「竹久夢二伊香保記念館」(群馬県)と共催で、「竹久夢二生誕一二〇年記念展」を来年三月半ばから九月にかけて、東京を皮切



Yumoto Yuzo

■秋のいこい
色付いたプラタナスの葉に開まれるようにしてベンチに座る女性は、地方から上京したのでしょうか、大きな信玄袋、木綿織の着物そして素足がそれを物語っています。大正七年、米価急騰により起きた米騒動は全国に波及し、上野公園にあてもなく上京した人達が多く見られたといわれています。「秋のいこい」とは、後年名付けられたタイトルで実際には「いこい」ではなく遠方に暮れている女性が描かれています。

《竹久夢二 略歴》	
明治17年	9月16日 岡山県邑久郡本庄村の小さな造り酒屋に生まれる。本名、茂次郎 神戸中学に入学。12月同校中退。
32年	福岡県遠賀郡八幡村大字枝光に転籍
33年	東京
34年	早稲田実業学校に入学
35年	「直言」にコマ絵掲載される。
38年	「中学世界」に「筒井筒」が第一賞入選し、投書家時代を終える。最初の著作「夢二画集・春の巻」発行 ベストセラーとなり、夢二の抒情画は天下に広まる。
42年	京都府立図書館において第1回夢二作品展覧会開催
大正 1年	京都府立図書館において第2回竹久夢二抒情画展覧会
7年	アメリカ・ヨーロッパへ旅立つ。(昭和8年帰国)
昭和 6年	9月1日 富士見高原療養所で50歳の生涯を閉じ、有島生馬氏らにより雑司が谷墓地(東京都豊島区)に埋葬される。
9年	

りに全国六箇所(東京・横浜・京都・大阪・名古屋・岡山)で開催する予定です。(詳細は未定)

漂泊と抒情の画家夢二は、生存中その口マンと芸術で一世を風靡しました。独自の情緒と哀愁は絵画を抜け出て同時代の人々の生活にとけこみ、甘美なリズムの夢二式美人は人々の心につれ、新しい時代の女性のイメージとファッションを創り上げました。

没後、彼の芸術は年を追って高い評価を受け、現在に至るまで人々に愛され続けています。その魅力はどこにあるのでしょうか。夢二郷土美術館の小嶋光信館長は、次のように述べられています。

「夢二の評はたくさんありますが、故郷を知らずして、彼を語ることはできないと思います。(中略)豊かな岡山の風土から生まれた、やや反権力的で、誰の世話にもならないという気概が底辺にあるように思います。師をもたず画壇に属さず、生涯自由な作風を創り続けた彼の姿勢は、まさしく岡山人なのです。」

来年は、夢二生誕一二〇年。岡山人「竹久夢二」の魅力を見つめ直してみませんか。

夢二郷土美術館 本館 TEL. 086-271-1000
〒703-8256 岡山市浜2丁目1-32 FAX. 086-271-1730

●開館時間：9～17時 ●休館日：月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日が休館)



生誕120年記念グッズ「夢二の猫」の紹介

(一筆せん、メモ帳、ハガキ)
夢二は動物にもやさしい眼差しで接しましたが、とりわけ猫を多く描いています。夢二郷土美術館が所蔵する豆本「猫」の版木(加藤版画研究所)より、無邪気で、おしゃれで、いたずらっ子、そしてちょっと哀愁を帯びた「夢二の猫」たちを再現したものです。



首都圏の中のおかやま

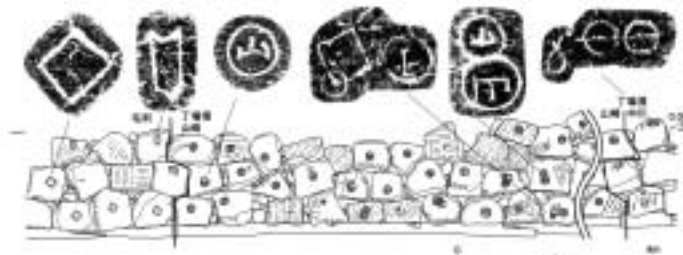
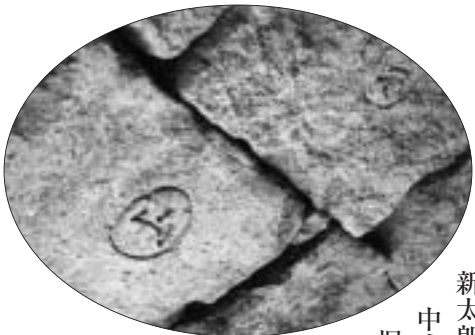
— おかやまゆかりの

江戸城外堀石垣のある 小石川後楽園

後楽園と称されるものには、東京都文京区にある小石川後楽園と岡山市にある岡山後楽園の二つがあり、ともに、江戸時代の典型的な大名の回遊式庭園である。その名称はともに中国宋代の范文正「岳陽楼記」の「士当先天下之憂而憂、後天下之樂而樂」(先憂後樂)からつけられた。水戸藩初代の徳川頼房は、徳川家光から江戸中屋敷として与えられた地に、一六二九年(寛永六年)小石川後楽園の築造を始めた。二代光圀もこれを継承し、中国明の遺臣朱舜水の意見を用いて、中国趣味を付け加えた。

中央に池があり、四方に築山を配して、各地の名所にちなむ堂社や亭を建てたが、その後、一七〇二年(元禄十五年)には將軍綱吉の生母桂昌院の来園で歩行障害となる奇岩大石を取り除いたため、景趣は著しく減じ、翌年の江戸大地震でも損傷を被った。明治維新で官取され、兵部省造兵司のちの東京砲兵工廠となり陸軍省が所管、内外の招宴場に用いられたが、関東大震災で建物の大部分が焼失した。一九三六年(昭和十一年)東京府の管理となり、一九四五年には戦災を被ったが、逐次整備され、一九五二年特別史跡および特別名勝に指定された。面積は約7ヘクタール。

その小石川後楽園の外壁(平成十年に改修された。153メートル)には、諸大名が競って築いた寛永十三年(一六三六年)の江戸城外堀普請(丸の内二丁目鍛冶橋付近)で、当時松平新太郎(池田光政)岡山藩主を組頭とする石垣方四組に属していた備中成羽藩主山崎甲斐守(山崎家治)の丁場の石垣で、江戸城外堀発掘調査の際に出土した石垣が使われている。石垣の石材は伊豆半島もしくは真鶴半島から運ばれたもののようなのであるが、その石垣には備中藩山崎家の刻印が掘られており、当時が偲ばれる。(写真参照)



●参考文献：江戸城の考古学

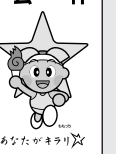


■小石川後楽園

静岡国体の秋季大会で 岡山県勢総合13位!

静岡県内で行われていた第58回国体秋季大会において、岡山県勢の天皇杯順位(男女総合得点は昨年の18位から5つ順位アップし13位でした。2005年開催の第60回国体等岡山大会に向け、着実に順位を上げています。東京岡山県人会の皆様は応援をよろしくお願いたします。

2005 晴れの国おかやま国体
お輝いて!おかやま大会
第58回国体秋季大会
第60回国体等岡山大会



事務局からの お知らせ

■新規会員のご紹介
県人会では、新しい会員を随時募集しています。職場、知人等で入会を希望される方がおられる場合は、入会申込書を送付しますので、事務局までご連絡ください。

■住所等変更手続き
県人会では、会員の皆さまに観光、特産品等の情報を提供したり、会員名簿の配布等を行っています。住所等の変更が生じた場合には、必ず事務局までご一報ください。

■県人会会報に関するご意見等の募集
今後会報をよりよいものとするため、内容等について、皆さま方からのご意見・ご要望をお待ちしています。

連絡先

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F 岡山県東京事務所内
東京岡山県人会事務局
TEL 03-5212-9080
FAX 03-5212-9083
E-mail: tokyo_okayamaken@tdf.or.jp